

# あいちっこ「親の学び」 学習プログラム

<平成27年度 追加版>

- 6 乳幼児期（0歳～2歳）の子どもの保護者を対象

## 大切なコミュニケーションって？

テーマ：コミュニケーション（子どもに向き合う親の態度）



スマートフォンを片手に子育てをするエピソードを通して、子育ての基本である子どもに向き合う姿勢について見つめ直してみませんか？

I-6

大切なコミュニケーションって？

<エピソード 1>

みち子さんは、出産を機にママ友が何人かでき、心強く思っています。子育てと家事の両立で息つく暇のない中、友だちの声を聞いたり、話を聞いてもらったりするとほっとすることがあります。

今日も、授乳中に着信です。赤ちゃんを片手に抱きながらメールを返信していると、いつものように、赤ちゃんはいつの間にかすやすや眠っていました。



Work

いつの間にか眠っている赤ちゃんを見て、みち子さんはどんなことを思っているのでしょうか？

Work

あなたは、みち子さんにどんな言葉をかけてあげたいですか？

<エピソード 2>

みち子さんは、赤ちゃんの夜泣きに悩まされています。そんな時、ママ友から、泣きじゃくる赤ちゃんを落ち着かせるためのツール（スマートフォンのサイト）を教えてもらいました。

さっそく、赤ちゃんにそのツールを見せると、だんだん泣き声が収まっていき、いつの間にか赤ちゃんは、スマートフォンの画面をじっと見つめるようになりました。この後、みち子さんは、この方法を何度か使いました。

Work

このような場合、あなたは、みち子さんに、どんなアドバイスをしますか。

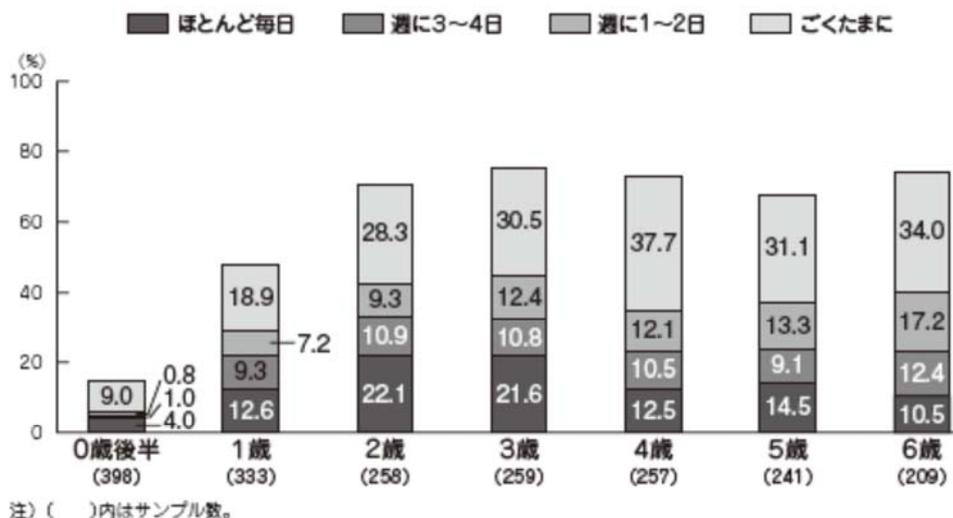


Work

資料を見て、あなたは、どのようなことを思いますか。

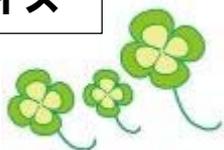
資料

母親がスマートフォンを使っている場合の  
子どもの1週間のスマートフォン使用率



< 2013年 ベネッセ教育総合研究所調査より >

アドバイス



愛着について



赤ちゃんのこころは未熟なままで生まれてきますが、大人とのかかわりを通して6～8ヶ月ころに愛着が形成されます。赤ちゃんが歩き始めるまでの時間が大切です。

愛着とは、特定の人に対して「自分の要求や感情を理解してくれる人といれば安心だ。」という気持ちのことで、特定の人に対する特別な情愛です。

赤ちゃんは自分が泣いたり、笑ったりしたときに、アイコンタクトをして近づいたり、優しく触れたりしてくれた人を特定の人として選びます。

赤ちゃんが発した「あぁ～」とか「うっく～うん」などと言葉にならない声に対して、お母さんやお父さんが「どうしたの?」「ママ(パパ)はここだよ。」などと返答することが愛着を育てる基礎になります。

お誕生日が来るまでには、泣く理由がわからなかったり、人見知りをしたり、お母さんやお父さんを困らせることがたくさんありますが、愛着が形成された赤ちゃんは安心感を持ち行動範囲を広げていくことができます。この力をはぐくむことができるのが、赤ちゃんの周りにいる特定の人達です。

< H27年度 愛知県市町村保健師協議会代表役員 >

乳幼児（0歳～2歳）の子どもを持つ保護者を対象

## I-6 大切なコミュニケーションって？

<プログラムのねらい>

- ・育児の際中に、スマートフォンや携帯電話などのメディアを使用することの問題点に気づき、親子の絆を強めるコミュニケーションについて考える。
- ・愛着形成にふれることで、この時期の子育てに大切な親子のふれあいについて考える。

時間	進め方	準備
10分	<p><b>アイスブレイキング</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・仲間で交流する遊びを行ない、リラックスした雰囲気づくりをする。</li> <li>（4～5人のグループをつくる）</li> <li>・他者の意見を否定しない、秘密は守るなど、グループのルールの確認と本日の活動目的を明確にする。</li> </ul>	H22年度版学習プログラムの2目次P2「アイスブレイキング各種」参照
35分	<p><b>Work</b></p> <p>エピソード1を読み、母親の気持ちに触れながら、どんな言葉かけをしたらいいかを各自で考えた後で、グループで思いを伝え合う。</p> <p>エピソード2を読み、母親の気持ちに触れながら、どんな言葉かけをしたらいいかを各自で考えた後で、グループで思いを伝え合う。</p> <p>さらに、資料「母親がスマートフォンを使っている場合の子どもの1週間のスマートフォン使用率」から気付いたことや問題になること、心配されることについてグループで話し合う。</p> <p><b>【ポイント】</b> 愛着形成にふれることで、この時期に大切なコミュニケーションの在り方（アイコンタクト、ソフトタッチの大切さ）について具体的に考える。</p>	<p>エピソード メモ用紙配布</p> <p>ホワイトボード や大きな紙に、発表された意見を並べ、様々な考え方を共有する。</p>
15分	<p><b>グループ発表、まとめ、振り返りシート</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各グループで出たアイデアについて全体で発表・紹介し、話し合う。</li> <li>・全体を通して、気付いたこと、今後やってみたいことを振り返りシートに記入する。</li> </ul>	振り返りシート